

市立中学校における通知表誤記載について

南中学校において、10月7日配付の前期通知表の観点別評価及び評定に誤記載があることが判明しました。学校は、生徒、保護者に謝罪を行い、正しい観点別評価及び評定を記載した通知表に差し替えます。

1 誤記載の内容

第1学年社会科を担当する教員が、日常の評価、テスト結果などを成績入力シートに記録していた。成績入力シートを作成する際、4つある観点のうち観点2と3の順番を間違えて作成し、それに気づかず、観点1、3、2、4の順にデータを入力していた。さらに夏休みの宿題のデータ入力する際、観点1、3、4、2の順に成績入力シートに入力し、前期の成績処理を行った。

その結果、第1学年186名中の63名の社会科前期観点別評価、及びそのうち4名の評定が誤記載となった。

* 観点別評価と評定について

社会科では、観点別評価は観点1「社会的事象への関心・意欲・態度」、観点2「社会的な思考・判断・表現」、観点3「資料活用の技能」、観点4「社会的事象についての知識・理解」の4観点をそれぞれ5段階で評価をする。それをもとに点数化したものの合計が評定となる。

2 学校名及び当該教員

学校名 横浜市立南中学校 校長：西 嘉之（にし よしゆき）
生徒数：625名 教職員数：36名
所在地 横浜市南区六ッ川1丁目14番地
当該教員 社会科非常勤講師 20代女性

3 経過

- 10月 7日（金） 前期通知表を配付した。
- 12月 5日（月） 当該教員が、後期中間テストの処理中に前期評価で成績入力シートの観点2と観点3の評価が逆になっていることに気付く。当該教員は、誤記載を副校長、校長に報告し、誤記載の状況を確認、正しい観点別評価・評定の算出を行う。
- 12月 6日（火） 全教職員に状況を説明し、全学年、全教科で前期観点別評価及び評定の再点検を行う。
校長が東部学校教育事務所に連絡を入れる。
- 12月12日（月） 保護者説明会開催の文書配付
（12月13日（火）から16日（金）の間の保護者面談で当該の生徒及び保護者に説明、謝罪をし通知表の差替えを行い、19日（月）に保護者説明会を実施し、報告、謝罪を行う予定）

4 誤記載が発生した主な原因

当該教員が、前期の成績処理入力シートを作成する際、観点の順番やデータ入力の順番を間違えた。観点のデータ入力後のチェックを複数で行っていなかった。

5 再発防止に向けた取組

日時を明確にして一斉に確認作業をするとともに、ダブルチェックを行ったか等を後から確認できるよう成績処理手順書を修正します。

お問合せ先

教育委員会事務局東部学校教育事務所 指導主事室長 直井 純 Tel 045-411-0607